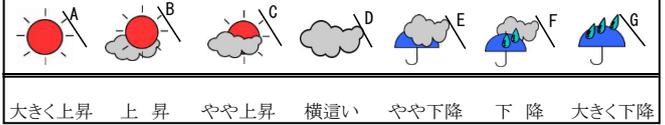


葛飾区の 景況

令和6年4～6月期

回答先 合計 895 社
 製造業 206 社 卸売業 113 社
 小売業 105 社 サービス業 155 社
 建設業 180 社 不動産業 112 社
 ※不明 24 社
 調査方法 郵送及びWEBアンケート調査
 調査機関 (株)東京商工リサーチ

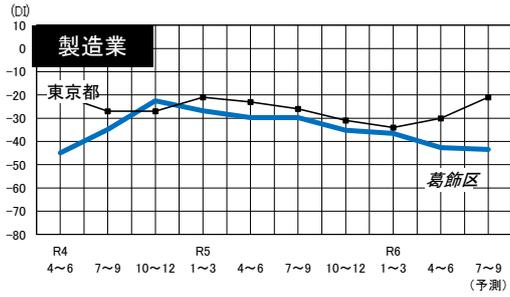
景気予報



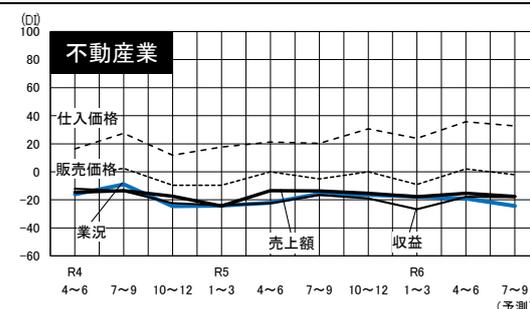
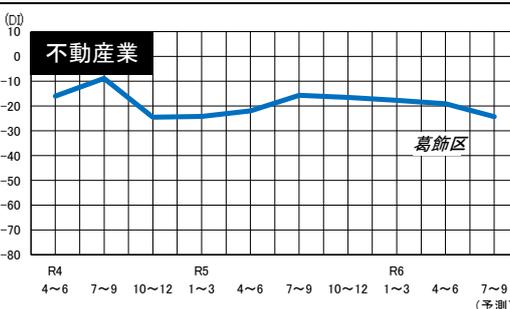
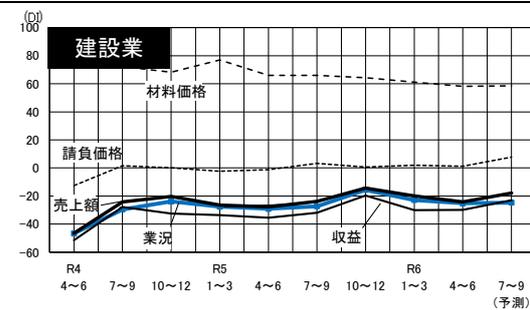
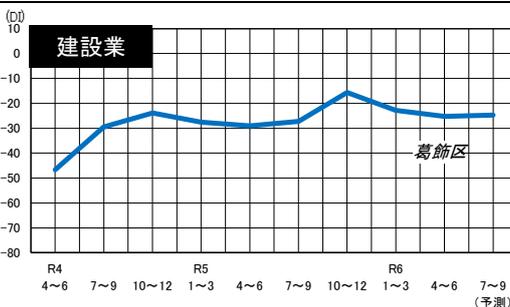
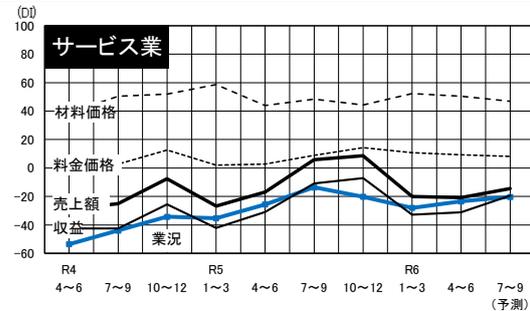
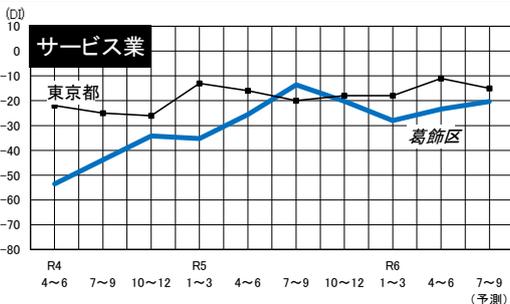
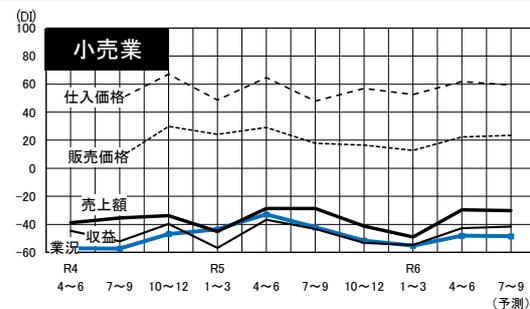
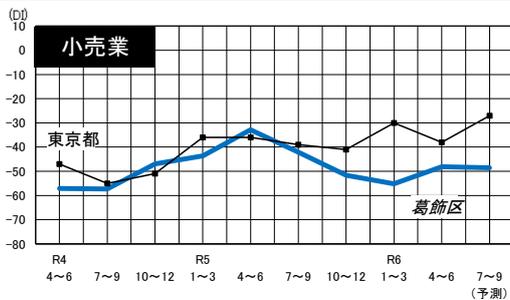
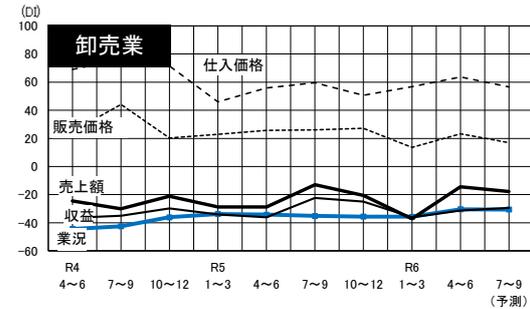
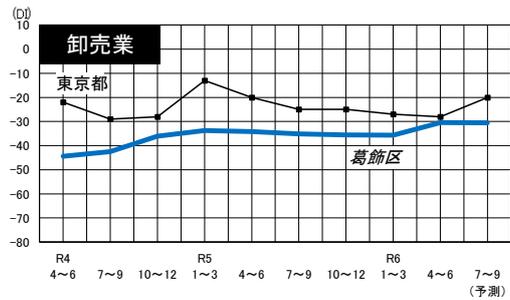
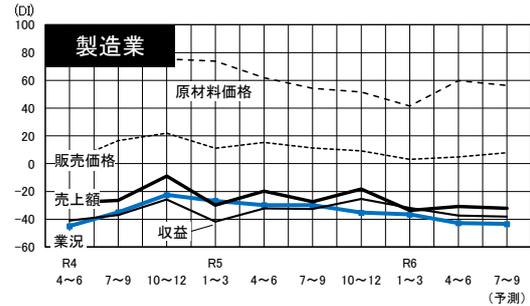
これは、令和6年6月下旬に調べた区内中小企業の景気動向と、これから先3ヶ月間（令和6年7月～9月期）の予想をまとめたものです。

全体	今期		業況は前期並となった。売上額、収益はやや減少幅が縮小した。販売価格はやや上昇傾向が強まり、仕入価格は大きく上昇傾向が強まった。資金繰りはやや窮屈感が緩和した。
	来期		来期の業況は今期同様で推移する見込み。売上額は今期同様で推移し、収益はやや減少幅が縮小すると予想されている。
製造業	今期		業況は大きく低調感が強まった。売上額はやや減少幅が縮小し、収益はやや減少幅が拡大した。販売価格はやや上昇傾向が強まり、原材料価格は大きく上昇傾向が強まった。資金繰りは大きく窮屈感が強まった。
	来期		来期の業況は今期同様で推移する見込み。売上額、収益は今期同様で推移すると予想されている。
卸売業	今期		業況は大きく厳しさが和らいだ。売上額は極端に減少幅が縮小し、収益はやや減少幅が縮小した。販売価格、仕入価格は大きく上昇傾向が強まった。資金繰りはやや窮屈感が緩和した。
	来期		来期の業況はほぼ今期同様で推移する見込み。売上額はやや減少幅が拡大し、収益は今期同様で推移すると予想されている。
小売業	今期		業況は大きく厳しさが和らいだ。売上額、収益は大きく減少幅が縮小した。販売価格、仕入価格は大きく上昇傾向が強まった。資金繰りは大きく窮屈感が緩和した。
	来期		来期の業況は今期同様で推移する見込み。売上額、収益は今期同様で推移すると予想されている。
サービス業	今期		業況はやや厳しさが和らいだ。売上額は前期並となり、収益はやや減少幅が縮小した。料金価格、材料価格はやや上昇傾向が弱まった。資金繰りはやや窮屈感が緩和した。
	来期		来期の業況はやや厳しさが和らぐ見込み。売上額、収益は大きく減少幅が縮小すると予想されている。
建設業	今期		業況はやや低調感が強まった。売上額、施工高はやや減少幅が拡大し、収益は前期並となった。請負価格は前期並となり、材料価格はやや上昇傾向が弱まった。資金繰りはやや窮屈感が緩和した。
	来期		来期の業況は今期同様で推移する見込み。売上額、収益は大きく減少幅が縮小すると予想されている。
不動産業	今期		業況は前期並となった。売上額はやや減少幅が縮小し、収益は大きく減少幅が縮小した。販売価格は上昇に転じ、仕入価格は大きく上昇傾向が強まった。資金繰りはやや窮屈感が緩和した。
	来期		来期の業況はやや低調感が強まる見込み。売上額はやや減少幅が拡大し、収益は今期同様で推移すると予想されている。

葛飾区と東京都の業況の動き（実績） と来期の予測



業況と売上額、収益等の動き（実績） と来期の予測



※東京都の景況調査におきましては建設業・不動産業の調査は実施されていないので、全都の建設業・不動産業の業況は表示していません。

葛飾区 業種別 経営上の問題点

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
第1位	原材料価格・材料価格の上昇 59%	売上の停滞・減少 43%	売上の停滞・減少 57%	売上の停滞・減少 人手不足 43%	人手不足 48%	売上の停滞・減少 25%
第2位	売上の停滞・減少 56%	原材料価格・材料価格の上昇 39%	原材料価格・材料価格の上昇 33%	原材料価格・材料価格の上昇 32%	原材料価格・材料価格の上昇 45%	利幅の縮小 原材料価格・材料価格の上昇 24%
第3位	人件費の増加 21%	仕入先からの値上げ要請 29%	利幅の縮小 25%	人件費の増加 26%	売上の停滞・減少 43%	人件費以外の経費増加 21%
第4位	人手不足 19%	利幅の縮小 25%	同業者間の競争の激化 19%	利幅の縮小 19%	人件費の増加 28%	同業者間の競争の激化 19%
第5位	利幅の縮小 16%	取引先の減少 21%	仕入先からの値上げ要請 人件費の増加 18%	人件費以外の経費増加 17%	利幅の縮小 19%	販売商品の不足 7%

葛飾区 業種別 重点経営施策

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
第1位	販路を広げる 43%	販路を広げる 53%	販路を広げる 40%	経費を節減する 41%	人材を確保する 51%	経費を節減する 32%
第2位	経費を節減する 37%	経費を節減する 39%	経費を節減する 39%	人材を確保する 39%	経費を節減する 39%	不動産の有効活用を図る 27%
第3位	技術力を強化する 23%	仕入先・提携先を開拓・選別する 22%	売れ筋商品を取扱う 23%	販路を広げる 26%	技術力を強化する 30%	販路を広げる 16%
第4位	人材を確保する 22%	情報力・宣伝・広報を強化する 14%	品揃えを充実させる 人材を確保する 18%	情報力・宣伝・広報を強化する 14%	販路を広げる 24%	情報力・宣伝・広報を強化する 12%
第5位	新製品・技術を開発する 18%	品揃えを充実させる 人材を確保する 12%	情報力・宣伝・広報を強化する 17%	労働条件を改善する 13%	仕入先・提携先を開拓・選別する 19%	店舗・設備を改装する 10%

東京都・葛飾区の企業倒産動向

1. 「東京都」の企業倒産 倒産件数と負債総額

	前年同期		前期		当期	
	2023年4～6月	2024年1～3月	2024年4～6月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)	
件数(単位:件)	382	416	485	16.6%	27.0%	
負債額(単位:百万円)	231,532	82,831	77,767	-6.1%	-66.4%	

※集計対象は、負債額1,000万円以上の倒産

2. 「葛飾区」の企業倒産 倒産件数と負債総額

	前年同期		前期		当期	
	2023年4～6月	2024年1～3月	2024年4～6月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)	
件数(単位:件)	9	11	11	0.0%	22.2%	
負債額(単位:百万円)	228	1,700	808	-52.5%	254.4%	

※集計対象は、負債額1,000万円以上の倒産

東京都の景況

令和6年6月の都内中小企業の業況DI（業況が「良い」とした企業割合－「悪い」とした企業割合）は、▲26（前期は▲27）と、前期並となった。今後3ヶ月間の見通しでは、今期比5ポイント増の▲21とやや改善すると見込まれている。

業種別の結果は次のとおり。

製造業 業況DI（▲30）は4ポイント増とやや改善した。仕入価格DI（仕入単価が「上昇」とした企業割合－「低下」とした企業割合）（26）は4ポイント増とやや上昇した。販売価格DI（販売単価が「上昇」とした企業割合－「低下」とした企業割合）（1）は3ポイント減とやや下降した。今後3ヶ月間の業況見通しDI（▲21）は9ポイント増と大幅に改善すると見込まれている。

卸売業 業況DI（▲28）は1ポイント減と前期並となった。仕入価格DI（29）は7ポイント増と大幅に上昇した。販売価格DI（13）は増減なく前期並となった。今後3ヶ月間の業況見通しDI（▲20）は8ポイント増と大幅に改善すると見込まれている。

小売業 業況DI（▲38）は8ポイント減と大幅に悪化した。仕入価格DI（29）は5ポイント増とやや上昇した。販売価格DI（14）は5ポイント増とやや上昇した。今後3ヶ月間の業況見通しDI（▲27）は11ポイント増と大幅に改善すると見込まれている。

サービス業 業況DI（▲11）は7ポイント増と大幅に改善した。販売価格DI（0）は3ポイント減とやや下降した。今後3ヶ月間の業況見通しDI（▲15）は4ポイント減とやや悪化すると見込まれている。

特別調査「人手不足対策について」

問1. 現在の人員状況について（〇は1つのみ）

（単位：％）

	かなり人手不足である	やや人手不足である	特に不足感はない	わからない、その他
全体（833件）	12.8	30.4	52.9	3.8
製造業（197件）	6.1	35.0	56.9	2.0
卸売業（109件）	5.5	29.4	60.6	4.6
小売業（98件）	8.2	22.4	66.3	3.1
サービス業（151件）	20.5	34.4	43.7	1.3
建設業（170件）	27.6	41.2	28.8	2.4
不動産業（108件）	2.8	7.4	76.9	13.0

問2. 人手不足への対応（〇はいくつでも）

問1で『かなり人手不足である』、『やや人手不足である』を選んだ方

（単位：％）

	正社員の採用	パートタイム社員、アルバイトの採用	単発アルバイト、スポットワークでの対応	業務の外注	受注調整など業務量の変更	特に対応は考えていない	その他
全体（356件）	50.6	30.6	8.4	30.1	12.9	9.8	5.3

問3. 人手不足に対応する上での課題や問題（〇はいくつでも）

問1で『かなり人手不足である』、『やや人手不足である』を選んだ方

（単位：％）

	賃金を高くしなければ採用できない	採用してもすぐにやめてしまう	外注費が高い	採用するための費用負担（広告、事務等）	外国人を採用したいが難しい	業績が不透明なので採用に踏み切れない	特になし	その他
全体（345件）	55.1	29.3	17.1	31.0	7.8	23.2	7.8	9.3

問4. 人手不足を感じない理由（〇はいくつでも）

問1で『特に不足感はない』を選んだ方

（単位：％）

	業務を効率化していたため	外注を増やしていたため	人員補充ができていたため	仕事が減ったため	特に理由はない	その他
全体（419件）	20.5	9.3	18.1	33.9	24.8	4.5

問5. 外国籍の方の採用についての問題や課題（〇はいくつでも）

（単位：％）

	どこで紹介してもらえないかわからない	言葉などコミュニケーションの不安	生活習慣・宗教への配慮が必要	社会保険などの手続きがわからない	日常生活・家族への手助けが必要	外国人を採用しており問題・課題はない	外国人を採用する予定はない	その他
全体（697件）	6.6	14.6	8.9	3.7	3.2	8.0	67.7	4.0

問6. 人手不足に関して、行政に望む支援（〇はいくつでも）

（単位：％）

	人材の紹介、マッチング	採用・求人に関する情報提供	従業員研修等を実施する際の支援	補助金・助成金の紹介	補助金・助成金の申請手続きの手助け	特になし	その他
全体（785件）	18.0	16.3	8.3	33.2	25.1	46.5	2.0